

平成 29 年 度
事業 報 告 書
(上半期)

東備西播定住自立圏形成推進協議会

生活機能の強化

【ア. 医療】

(ア) 地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	医療連携研究会事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4 公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。	
効果	公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
●公開学術講演会の実施（予定） 講演者：神戸大学医学研究科整形外科学 教授 黒田良祐 内 容：演題「未定」 と き：平成 2 9 年 1 1 月 6 日（月） 午後 5 時 3 0 分から と ころ：赤穂市民病院 講義室 参加者：赤穂、備前、上郡 医療技術者等		
予算額 366,000 円		

事業名	看護職員教育研修支援事業	関係市町	
		赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	看護職員の教育研修に必要なシミュレータ（手技訓練のための実物モデル）等の教育機材を購入し、4公立病院（赤穂、備前、日生、吉永）の新人を中心とした看護職員の技術取得、レベルアップを図る。		
効果	看護職員は全国的にも確保が困難な状況であり、採用後の離職防止対策は重要な課題である。中でも看護技術の取得は一朝一夕にできるものではなく、現場のみならず様々な教育機材を活用したトレーニングが有効である。このため、教育機材を設置し、4公立病院の看護職員の技術取得、レベルアップをはかることにより、離職防止にもつなげていく。なお、教育機材は新人のみならず、在家庭の看護師の再就職の際にも非常に効果があることから、確保対策としても期待できる。		
平成29年度事業の内容			
研修用シミュレータ			
・摘便・浣腸モデル	(1台)	137,700円	
・男性導尿浣腸モデル	(1台)	114,750円	
・殿部筋肉内注射モデルⅡ型	(1台)	142,290円	
・HEINE K180 検眼・K180 耳鏡セット	(5セット)	315,900円	
・聴診器（ナーシング）	(12個)	48,600円	
・CVC 穿刺挿入シュミレータⅡ	(1台)	238,680円	
計		997,920円	
予算額 1,000,000 円			

事業名	圏域住民診療支援事業	関係市町	
		赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額とする。		
効果	備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人々の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。		
平成29年度事業の内容			
4月～8月の実施状況			
備前市	5件	202,500円	
上郡町	4件	162,000円	
計	9件	364,500円	
予算額 1,480,000円			

【イ.教育】

（ア）生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	巡回展開催事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	埋蔵文化財出土遺物の交流・展示会を次のとおり企画し、3市町の資料館等で巡回展示する。 平成24年度以降の発掘調査の成果の紹介、2市1町の特徴を示す埋蔵文化財・史跡等の紹介、特定テーマ展等についての展示を2市1町の資料館等を巡回して展示する。	
効果	圏内は古代より備前、播磨の接壤地帯にあり、学会的にも注目される地域である。このような圏域の特徴を再発見し、誇りの醸成に資するとともに、圏域内外の人的交流を活かした文化振興を図る。	
平成29年度事業の内容		
1 担当者会議 平成29年 5月31日 上郡町郷土資料館にて2市1町の担当者会議を実施。 2 実施概要 テーマ「We LOVE 城郭展（仮）」 ・各市町の主要な城郭遺跡の解説及び出土遺物の展示を実施。 ・主担当は備前市とする。 3 スケジュール 平成29年12月6日～1月8日 備前市加子浦歴史文化館にて巡回展実施。 平成30年1月13日～2月4日 上郡町郷土資料館にて巡回展実施。 平成30年2月7日～3月5日 赤穂市立有年考古館にて巡回展実施。		
予算額 500,000 円		

事業名	図書館相互利用推進事業	関係市町																										
		赤穂市・備前市・上郡町																										
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシ、利用カードを作成する。																											
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。																											
平成 29 年 度 事 業 の 内 容																												
- 平成 23 年 4 月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始 - 利用案内ポスター・チラシ配布 - 各図書館登録状況（平成 29 年 7 月末現在）<table><tr><td>赤穂市から</td><td>備前市</td><td>24 人</td><td>上郡町</td><td>91 人</td><td>関福大</td><td>326 人</td></tr><tr><td>備前市から</td><td>赤穂市</td><td>546 人</td><td>上郡町</td><td>11 人</td><td>関福大</td><td>34 人</td></tr><tr><td>上郡町から</td><td>赤穂市</td><td>424 人</td><td>備前市</td><td>5 人</td><td>関福大</td><td>29 人</td></tr></table>								赤穂市から	備前市	24 人	上郡町	91 人	関福大	326 人	備前市から	赤穂市	546 人	上郡町	11 人	関福大	34 人	上郡町から	赤穂市	424 人	備前市	5 人	関福大	29 人
赤穂市から	備前市	24 人	上郡町	91 人	関福大	326 人																						
備前市から	赤穂市	546 人	上郡町	11 人	関福大	34 人																						
上郡町から	赤穂市	424 人	備前市	5 人	関福大	29 人																						
—																												

事業名	図書館読書活動推進事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の読書活動を推進するため、読書講演会を実施する。実施にあたっては、著名講師による講演会の開催を行う。上郡町は従前からの毎年実施を踏襲し、備前市及び赤穂市は隔年ごとの持ち回りにより実施する。	
効果	圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学附属図書館における相互の連携により図書館サービスの向上と図書館利用の拡大促進を図る。 読書講演会の実施により圏域利用者の図書館利用サービスの推進を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
実施済み		
・赤穂市立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示「おすすめえほん」		
日 時：平成 29 年 7 月 1 日（土）～20 日（木）		
場 所：赤穂市立図書館・関西福祉大学図書館		
対象者：赤穂市立図書館・関西福祉大学図書館の利用者		
内 容：同一時期・同一テーマ（おすすめえほん）による本の企画展示。 展示物・POP については関西福祉大学学生有志にて作成。		
目 的：赤穂市立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携により、双方の読書活動推進と図書館利用の拡大促進を図る。		
計画		
・『秦氏を考えるシンポジウム 2017ー地域と歴史資源』		
日 時：平成 29 年 9 月 18 日（月・祝）13:00～16:30		
場 所：赤穂市文化会館（ハーモニーホール）小ホール		
定 員：300 名		
【内容】		
第 1 部 基調講演		

「秦氏と賀茂氏の関係－松尾大社の葵祭を中心に」

講師：南 美宣／松尾大社権禰宜

「播磨の秦氏と吉備の秦氏」

講師：古市 晃／神戸大学大学院人文学研究科准教授

「雅楽が繋ぐ大避神社－天王寺楽人」

講師：東儀 道子／元宮内庁主席楽長東儀俊美氏夫人

「大避神社の御祭神と祭り」

講師：生浪島 堯／大避神社宮司

第2部 シンポジウム

パネルディスカッション

コーディネーター 井上 満郎／京都産業大学名誉教授

パネリスト 講師4名

実施済み

上郡町立図書館 ワークショップ『ズキン DE パレード』の開催

日時：平成29年7月30日（日）10：00～15：00

場所：上郡町立つばき会館 実習室6とその周辺

参加者数：91名

講師：画家 スズキ コージ氏

内容：素敵なお面やかんむりを作り、太鼓や笛を鳴らして（ドンチャカ）図書館の周りをみんなでパレードをする。

計画

『絵本原画展 第2回 アキノ イサムの世界』

日時：平成30年3月2日（金）～ 3月11日（日）

9：00～17：00 最終日は、15：00まで

場所：上郡町生涯学習支援センター 中ホール

内容：絵本の原画展及び秋野和子氏とお話しよう！

原画『ムースの大だいこ』 秋野和子再話

計画

読書講演会（こども読書まつり）

日時：平30年1月21日（日）

10：00～17：00

場所：備前市市民センター 第1・2講座室

内容：午前 絵本作家ふじもとのりこ氏 講演会

午後 ワークショップ

終日 絵本の原画展

予算額 1,600,000 円

事業名	文化・スポーツ交流事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、スポーツ推進委員の連携による合同研修会や青少年のスポーツ交流のほか、関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。	
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
・平成 29 年 5 月 23 日（火）2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 備前市教育委員会三石支所にて、平成 29 年度スポーツ推進委員の活動状況、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会、トップアスリート招聘事業について情報交換を実施。 (備前市 6 名 赤穂市 6 名 上郡町 6 名) ・平成 29 年 11 月 12 日（日）第 7 回赤穂シティマラソン大会開催（予定）。 2 市 1 町のスポーツ推進委員が大会運営に協力予定。 ・平成 30 年 1 月 21 日（日）2 市 1 町スポーツ推進委員合同実技研修会実施（予定）。 備前市日生運動公園体育館にて、2 市 1 町スポーツ推進委員合同の実技研修（スポーツ吹矢）及び交流会を実施予定。 ・平成 30 年 2 月 3 日（土）2 市 1 町青少年スポーツ交流会（予定）。 2 市 1 町の小学生を対象に、赤穂海浜スポーツセンターにて、女子サッカーなでしこ 2 部の AS アルビオンの選手を招いてサッカー教室を実施予定。		
予算額 640,000 円		

事業名	文化・スポーツ施設相互利用促進事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域住民が関係市町の文化・スポーツ施設を同等の条件で利用することにより、圏域内における文化・スポーツ施設の相互利用促進を図る。	
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。	
平成29年度事業の内容		
東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等を一部改正した。 <広域利用対象施設> [赤穂市] 1) 文化関連施設 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館 2) スポーツ関連施設 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター 元禄スポーツセンター [上郡町] 1) 文化関連施設 生涯学習支援センター・郷土資料館・生きがい創造センター 2) スポーツ関連施設 スポーツセンターB＆G [備前市] 1) 文化関連施設 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化会館・八塔寺ふるさと村民民俗資料館・図書館（本館）・図書館（日生分館）・図書館（吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・日生市民会館 2) スポーツ関連施設 総合運動公園・三石運動公園施設・日生運動公園施設・吉永B＆G海洋センター・頭島グランドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・吉永テニスコート <広域利用開始時期> 平成23年4月1		
—		

事業名	トップアスリート等招聘事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。	
効果	高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。 また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。	
平成29年度事業の内容		
・平成29年4月13日（木）2市1町事業担当者会を実施。（上郡町スポーツセンター） 1）平成29年度の事業内容について協議。 ・平成29年5月23日（火）2市1町事業担当者会を実施。（備前市三石支所） 1）平成29年度の事業内容について協議。 1. バレーボール教室 1）期日 平成29年 6月10日（土）13:00～17:00 2）会場 上郡町スポーツセンター 総合体育館 3）内容 2市1町の小学生を対象に、日本女子プレミアリーグ所属の岡山シーガルズによる青白戦及びバレーボール教室を実施。 4）参加人数 121名 (備前市32名 赤穂市78名 上郡町11名)		
予算額 1,085,000 円		

事業名	中学校吹奏楽部交流助成事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。	
効果	圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、音楽技術の向上を図る。	
平成29年度事業の内容		
平成29年7月6日 赤穂市教育委員会にて2市1町の担当者会議を実施。		
1) 実施日	平成30年2月12日(月・祝)	
2) 会場	赤穂市文化会館	
3) 内容	2市1町の中学校吹奏楽部及び赤穂市吹奏楽団による交流演奏会を実施。	
4) 参加人数	140名	
5) 参加校	赤穂中、赤穂西中、上郡中、吉永中、日生中(予定)	
予算額 700,000円		

事業名	子ども科学教室開催事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	赤穂市海洋科学館を学習拠点施設として、圏域内の小学生を対象とした子ども科学教室を開催する。	
効果	自然科学への興味や学習意欲の向上を図り、合わせて圏域内の子どもの交流を推進する。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
1) 実施日	平成 29 年 1 1 月 1 8 日（土）実施。	
2) 会場	関西福祉大学	
3) 内 容	2 市 1 町の小学生を対象に、情報科学（プログラミング）教室を実施。	
4) 参加人数	4 5 名予定（赤穂市 1 5 名 上郡町 1 5 名 備前市 1 5 名）	
予算額 600,000 円		

事業名	圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育） プログラム事業	関係市町	
		赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施する。		
効果	圏域内の高等教育機関である関西福祉大学において、中学生が将来に向けて学ぶ意欲や興味を持つ分野を発見し、社会福祉、看護、教育に関する体験プログラムを通じた職業意識の向上を図る。		
平成 29 年 度 事 業 の 内 容			
1 内容			
東備西播定住自立圏形成推進事業の一環として、圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施する。			
2 対象中学校等及び参加者数			
赤穂市	赤穂中学校	平成 29 年 9 月 29 日	126 名
	赤穂西中学校	平成 29 年 5 月 23 日	103 名
	赤穂東中学校	2 学期中実施予定	140 名
	坂越中学校	3 学期中実施予定	44 名
	有年中学校	2 学期中実施予定	14 名
上郡町	上郡中学校	平成 29 年 6 月 9 日	132 名
備前市	備前中学校	2 学期中実施予定	106 名
	伊里中学校	実施予定なし	0 名
	三石中学校	実施予定なし	0 名
	日生中学校	平成 29 年 10 月 31 日	61 名
	吉永中学校	実施予定なし	0 名
			計 726 名
予算額 1,156,000 円)			

事業名	赤穂市生涯学習施設整備事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	赤穂市立海洋科学館は、圏域における自然科学の学習拠点施設の役割を担う施設であるが、開館から27年経過し、展示内容が老朽化しているため、大規模な展示内容の改修を実施し、学習拠点施設として魅力的な施設整備を図る。	
効果	老朽化した展示内容を改修することにより、圏域住民にとってより魅力的な自然科学学習の拠点となり、学習意欲の向上に資することができる。	
平成29年度事業の内容		
1. 赤穂市立海洋科学館		
1) 展示改修（Q＆Aコーナー改修）工事		
展示内容の老朽化による改修工事を実施。		
① 工期 平成29年9月8日～平成30年2月28日		
② 執行額 未執行		
予算額 15,400,000 円		

事業名	備前市生涯学習施設整備事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	市民センター及び日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ 圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。	
効果	圏域住民の利用に必要な施設の整備を行い、図書館相互利用推進事業の推進を図るとともに、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
1. 日生市民会館		
1) 昇降機改修工事		
経年劣化による改修工事を実施。		
① 工期	平成29年8月10日～平成30年1月12日	
② 執行額	16,524,000円	
予算額 16,524,000円		

事業名	上郡町スポーツ施設整備事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	上郡町スポーツセンターは、圏域市町間における「スポーツ施設相互利用推進事業」をはじめ、各種圏域事業による圏域住民のスポーツ振興、住民交流を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。	
効果	圏域住民の交流・利用に必要な施設の整備を行い、スポーツ施設相互利用推進事業をはじめとする圏域住民のスポーツの振興及び住民交流の促進を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
1. 上郡町スポーツセンター		
1) 施設整備		
施設の老朽化に伴う修繕の実施。		
① 工 期	平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 7 月 20 日	
② 執行額	10, 135, 800 円	
③ 主な修繕	・テニスコート人工芝張替工事 ・消防設備不良箇所修繕 等	
予算額 14,000,000 円		

(イ) 学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事業名	学校給食連携事業	関係市町
		上郡町・備前市・赤穂市
事業内容	圏域内の学校給食の運営において、市町間の食材に関する情報交換や相互の献立を活用するなど、地産地消の手法等の広域連携を行う。	
効果	圏域内の食材を活用した学校給食の提供、食育を通じて、地域の食材について理解を深めるとともに、圏域内での地産地消の推進を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
○給食部会担当者会の実施 (1) 開催日時 平成 29 年 8 月 4 日 (金) 14 時～ (2) 開催場所 上郡町学校給食センター (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・平成 29 年度学校給食連携事業の取り組みについて 〔下半期の予定〕 ○食材の提供 (1) 取組内容 広域的な地産地消の推進及び各市町の特産品の P R を目的に、年度毎に市町持ち回りで食材を提供する。平成 29 年度は赤穂市産食材の「みかんゼリー」を備前市、赤穂市、上郡町の給食に提供することとし、その賄材料費を負担する。 (2) 実施時期 【備前市】 平成 29 年 9 月 (9/4・9/20 配送) 【赤穂市・上郡町】 平成 30 年 1 月「全国学校給食週間」に実施 (3) 提 供 数 備前市 (5 共同調理場) 2,606 個 (見込み) 赤穂市学校給食センター 5,000 個 上郡町学校給食センター 850 個 計 8,456 個 (4) 執行予定額 @64×8,456 個×1.08=584.478 円 (5) そ の 他 各市町の「給食だより」「予定献立表」に食材説明等を明記し P R を図る。		
予算額 632,000 円		

【ウ.産業振興】

（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	地域ブランド発掘事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域の魅力を内外に発信するため、農商工業者等によるイベントの開催や出店支援、新製品開発の支援等、地域ブランド発掘のための事業を行う。	
効果	地域に埋もれた農林水産物やそれらを活用した商品の販路拡大、特産品開発を支援することで、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度の向上を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
【実施内容】 1. 地域ブランド発掘支援金の交付 予算額 400 千円 ・備前観光協会：瀬戸内小魚料理パンフレット作成補助 200,000 円 ・陶醉房 衣本幸子：モロたまプリン開発支援補助 180,360 円 2. イベント出店支援 予算額 100 千円 ・2月4日（予定） 赤穂かきまつりにおける出店補助 圏域内の農林水産物を圏域の内外にPRするための出店料を負担		
予算額 500,000 円		

(イ) 観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	観光振興推進事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックなどの作成や体験ツアーなどを企画する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信やマスメディアを活用した誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。	
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせるとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討も行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。	
平成29年度事業の内容		
1 観光部会の開催 ○第1回観光部会担当者的会議 期日 平成29年5月18日（木） 会場 赤穂市役所 内容 ・平成29年度事業計画及び収支予算について ・ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」公開生放送の実施について ・グルメパスポート本の発刊について 外 ○第2回観光部会担当者的会議 期日 平成29年9月5日（火） 会場 赤穂市役所 内容 ・グルメパスポート本の進捗状況について		

- ・観光PRページの構成等について
- ・共生ビジョン事業内容の見直しについて 外

○今後の予定

グルメパスポート本の発刊について

委託業者：(株)インデックス関西

契約期間：平成29年6月30日～平成30年3月31日

契約金額：1,976,000円

業務内容：グルメパスポート制作に係る企画、取材、調査、編集、印刷・製本、書店（コンビニ等含む）への流通

発行部数 3,000部

ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」公開生放送の実施

【備前市】

日時 平成29年10月14日（土）（予定）

会場 備前焼まつり会場内

内容 備前焼まつりのPR 外

予算額 2,300,000円

(ウ) 鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	有害鳥獣対策事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内各市町の共通課題である野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報共有化や獣害防護柵の設置支援を実施するとともに、現場で有害鳥獣駆除に携わる各市町の猟友会の活動の側面的支援を行う。	
効果	圏域内の関係団体が一体となった取組を進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。また、各市町で実際の有害鳥獣駆除業務を担う猟友会の活動支援を行うことで、駆除頭数の増加を図る。	
平成29年度事業の内容		
【実施内容】		
1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給 捕獲活動用消耗品等 予算額 300千円		
2. 獣害防護柵設置・捕獲わな購入補助金 予算額 700千円		
予算額 1,000,000 円		

(エ) 企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の収集を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。	企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。
備前市の役割	上郡町の役割
企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。	企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。

事業名	企業誘致促進事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	市町等が所有する工業団地用地や民間の未利用地等への企業立地及び既存企業の設備投資による事業拡張を促進するため、企業の投資情報等の収集活動など企業誘致活動を推進する。	
効果	住民の雇用の安定及び拡大を図るため、圏域への企業誘致と合わせて既存企業の事業拡張を促進し、圏域経済の拡大及び定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
効果的な企業誘致活動を推進するため、調査機関が所有する投資意向のある企業データを取得するとともに、企業進出意向調査を実施し、集計や分析を行い、企業誘致活動の方向性等について検証を行う。		
・ 企業誘致現状分析並びに設備投資意向調査業務委託		
受 託 者	協議中	
契約期間	協議中	
委託金額	協議中	
予算額 1,936,000 円		

むすびつきやネットワークの強化

【ア. 地域公共交通】

(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びＪＲ山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。

事業名	圏域バス運行事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域バスを運行する。	
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
【運行実績】 下記のとおり		
予算額 27,320,000 円		

圏域バス運行状況一覧表

区分/ 月	総括					上郡ルート					備前ルート				
	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
29.4	25	890	35.6	4.5	3.2	25	580	23.2	5.8	3.8	25	310	12.4	3.1	2.7
29.5	27	962	35.6	4.5	2.9	27	642	23.8	5.9	3.4	27	320	11.9	3.0	2.4
29.6	26	1,034	39.8	5.0	3.1	26	739	28.4	7.1	4.0	26	295	11.3	2.8	2.1
29.7	26	918	35.3	4.4	2.9	26	615	23.7	5.9	3.2	26	303	11.7	2.9	2.6
29.8	27	988	36.6	4.6	3.2	27	637	23.6	5.9	3.5	27	351	13.0	3.3	2.8
29.9	26	884	34.0	4.3	3.0	26	578	22.2	5.6	3.4	26	306	11.8	2.9	2.5
合計	157	5,676	36.2	4.6	3.1	157	3,791	24.1	6.0	3.6	157	1,885	12.0	3.0	2.5

事業名	J R利便性向上事業	関 係 市 町
		備前市・赤穂市・上郡町
事業内容	J R山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R西日本等関係機関への働きかけを行う。	
効 果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
◆ J Rへの要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会、兵庫県、岡山県） 平成30年 2月予定 J R西日本神戸支社要望会、J R西日本岡山支社要望会		
予算額 130,000 円		

【イ．ＩＣＴインフラ整備】

（ア）地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	地域情報活性化事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を推進する。	
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。	
平成29年度事業の内容		
地域SNSを引き続き運用 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 平成29年9月　ともりんく啓発リーフレットを追加印刷し、各市町の窓口等へ配布		
予算額 30,000 円		

【ウ．地域内外の住民との交流・移住促進】

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	民間イベント等助成事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。	
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
・平成 29 年度応募団体 15 団体 ・平成 29 年 4 月 23 日開催の公開審査（赤穂市役所）において、次の 15 事業について支援を決定した。		
予算額 2,960,000 円		

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	赤穂市、上郡町、備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	10月に備前市吉永町 B&G 海洋センターグラウンドで開催する大会を通じ、2市1町のグラウンド・ゴルフの技術向上や仲間づくりを推進します。また、高齢者の生きがいづくりに貢献します。
	備前市吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	
2	有年の里1日美術館とコンサート	東有年堤防等で花壇等の世話をし、春夏秋冬、花が咲き乱れる美しい有年を近隣地域に発信すべく、9月に1日美術館とコンサートを開催します。
	有年の里花いっぱいになあれの会	
3	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	2市1町の囲碁愛好家が連携し、世代間交流の場として12月に赤穂市文化会館において忠臣蔵交流囲碁大会を開催し、毎月1回、赤穂楽基会囲碁サロンにおいて月例ふれあい囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。
	忠臣蔵交流楽基会	
4	戦国武将よろいカブト交流事業2017	圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。
	赤松手作り鎧・兜の会	
5	第4回AKBカップ ミニバスケットボール大会	2市1町の小学生と住民のスポーツを通じた交流を目的に、1月に赤穂市民総合体育館でミニバスケットボール大会を実施します。
	赤穂市バスケットボール協会	
6	プレーパーク赤穂	赤穂城南緑地公園で遊びや工作教室開催し、世代を超えた地域交流の場を作り、子育ての環境の良さをPRし、子育て世代の移住促進を図ります。
	赤穂市地域活動連絡協議会	
7	AKB ミュージックフェス2017	音楽ジャンル、ミュージシャンなど個性や地域色を生かし、子どもから大人まで楽しみながら、2市1町の住民が連携と協調、協力しながら手作りの音楽イベントを運営開催する。
	東備西播音楽振興協議会	
8	史跡探訪会(備前播磨国境標石等の史跡探訪会)	5月及び11月に史跡探訪会を開催し、歴史文化遺産の情報を圏域内住民へ発信し、普及啓発に努めます。
	東備西播定住自立圏域史跡探訪会	
9	『～懐かしの昭和の風景～ 渡部美智子創作人形展』	5月に人形を展示し、昔懐かしい農村風景、昭和の時代、家族のふれあい等を伝え、圏域内外の住民の交流促進、まちの賑わい、地域文化の創出につなげます。
	地域文化再発見実行委員会	
10	第6回赤穂街コン！はじめよう恋活！	12月に赤穂市内において地域特産品(牡蠣等)が食べられる屋台を設置し、交流事業を実施することで、若年男女の出会いの場を提供し、圏域内の少子化対策、定住対策につなげます。
	赤穂街コン実行委員会	
11	忠臣蔵子ども将棋大会及び子ども将棋教室の実施	日本の伝統文化である将棋を通じて、東備西播地域の活性化を図り、青少年の育成や子育て支援、年代を超えた交流に貢献します。
	忠臣蔵子ども将棋大会実行委員会	
12	上郡駅伝競走小学生大会	1月に開催する大会内で、東備西播定住自立圏域の認知度向上に努め、地域の競技普及・振興、競技力向上に寄与します。
	赤穂郡陸上競技協会	
13	魅力発信！MAZEKOZE AKOマルシェ	飲食店やまちづくり団体等と連携し、食・体験・ワークショップを中心としたマルシェを開催する事で、地域の魅力を発信し、また、障がい者の方と普段接する機会が無い方へ、障がい者の方への理解を深めて頂きます。
	MAZEKOZEAKO実行委員会	
14	東備西播テニス交流大会	2市1町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、7月に備前市日生運動公園でテニス教室及びテニス大会を実施します。
	赤穂市テニス協会(備前市テニス協会)	
15	上郡ダンスフェスティバル ～K・D・F～	10月に、上郡町 B&G スポーツセンターサブグラウンドにおいて、近隣のダンスチームによるヒップホップダンスの披露等と、農作物や伝統芸能などの地域資源をPRするイベントを実施します。
	特定非営利活動法人 円心	

事業名	赤穂国際音楽祭開催助成事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。	
効果	圏域の魅力を赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
ル・ポン国際音楽祭 2017 赤穂・姫路として、姫路との共催により開催		
◆ル・ポン国際音楽祭		
開 催 日：平成 29 年 10 月 7 日（土）～14 日（土）		
定住自立圏枠設置日 10 月 7 日（土）、10 月 11 日（水）		
赤穂会場：赤穂市文化会館ハーモニーホール		
◆定住自立圏チケットを 200 席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。（実績＝45 席）		
◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行した。		
予算額 1,000,000 円		

事業名	こどもと学生のふれあい活動支援事業	関係市町	
		赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動を支援する。		
効果	圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。		
平成 29 年 度 事 業 の 内 容			
【実施日】			
平成 29 年 8 月	2 日（水）赤穂市（関西福祉大学）	参加小学生	88 名
	3 日（木）〃	〃	105 名
	4 日（金）上郡町（交流広場「菊森さんの家」）	参加小学生	16 名
	〃（生涯学習支援センター）		
	6 日（日）備前市（備前市市民センター）	〃	17 名
	8 日（火）上郡町（交流広場「菊森さんの家」）	参加小学生	32 名
	〃（生涯学習支援センター）		
予算額 110,000 円			

事業名	地域連携フォーラム支援事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が、「地域住民の幸せづくり」を目的として、「福祉」、「看護」、「教育」の視点から、様々な地域課題の問題解決に向けて取り組むために開催する「地域連携フォーラム」に対して支援する。	
効果	圏域内の多様な地域に関する課題に対し、地域を支える様々な分野の関係団体や、地域住民が「地域住民の幸せづくり」のために集い、話し合うことにより、問題解決の糸口を見つけるとともに、関係団体や住民相互の交流を図り、安心して幸せに暮らしている圏域づくりを推進する。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
名 称：関西福祉大学地域連携フォーラム 地域の底力～「がんばらない」けど「あきらめない」支えるということ～ 開催日：平成29年5月13日（土） 場 所：関西福祉大学 内 容：基調講演 「がんばらない」けど「あきらめない」 第1分科会「やってみよう！つながりを通した高齢期の健康づくり」 第2分科会「教育・子育て支援で結ぶAKB」 第3分科会「ケアする人へのケア carers care とは」 参加者：基調講演 555名 第1分科会 82名 第2分科会 89名 第3分科会 144名		
予算額 600,000 円		

移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	定住相談会開催等事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。	
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。	
平成29年度事業の内容		
◆大阪会場		
「ふるさと回帰フェア2017 in 大阪」に参加		
開催日：平成29年7月29日（土） 12：00～18：00		
場所：大阪マーチャンダイズ・マート展示ホールB・C		
内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 24組37人）		
・自治体相談コーナー出展		
定住説明、資料及び記念品（特産品）配布		
「兵庫県・岡山県合同移住相談会」を開催		
開催日：平成29年8月20日（日） 10：00～15：00		
場所：マイドーム大阪		
内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 20組33人）		
・定住説明、資料及び記念品（特産品）配布		
◆今後の予定		
「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催		
開催日：平成30年1月～3月の間		
場所：神戸市内、大阪市内の2か所		
内容：3市町職員による定住相談会		
・定住説明、資料及び記念品（特産品）配布		
予算額 1,975,000 円		

事業名	縁結び事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	単独の市町では企画できない圏域の魅力ある資源を活用した出会いイベントを開催。	
効果	圏域内の魅力ある資源の再発見や圏域外への情報発信ができる。また、圏域内外の住民の縁結びのきっかけをつくる。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
『3市町合同クリスマスカップリングパーティーin 桃井ミュージアム』（赤穂市）		
■予定日時	平成29年12月10日（日） 11：00～16：30	
■予定内容	東備西播定住自立圏域に在住、在勤、移住希望者の男性（20名）と地域制限なしの女性（20名）が、専門講師によるセミナーとカップリングパーティーに参加し、交流を深める。	
『3市町合同カップリングパーティー』（上郡町）		
■開催日時	未定	
■内 容	未定	
予算額 1,000,000 円		

事業名	定住相談員設置事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	2市1町にそれぞれ定住相談員を設置し、定住に関するさまざまな要望に迅速、的確に応えることでサービスの向上を図る。	
効果	定住相談員を専門職として設置することで、移住者に対する定住相談、情報提供、支援業務などワンストップサービス化を図ることができる。	
平成29年度事業の内容		
・各市町において定住相談員を各1名ずつ雇用（平成28年度～）。		
・各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援を行う。		
予算額 6,794,000 円		

圏域マネジメント能力の強化

【ア. 圏域内の職員等の交流】

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。

事業名	職員研修事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。	
効果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
1. 先進圏域視察		
◇日 時	未定	
◇視察先	未定	
◇参加者	赤穂市 2 名、備前市 2 名、上郡町 2 名	
◇内 容	未定	
予算額 366,000 円		

事業名	職員研修参加交流事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。	
効果	参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。	
平成29年度事業の内容		
備前市 ◇平成29年8月25日（金）備前市市民センター		
内 容	人権問題研修会	
講 師	備前市教育委員会 社会教育指導員	
参加人数	赤穂市 2名、上郡町 0名	
—		

事業名	人事労務担当職員研究会（交流）事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。	
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。	
平成29年度事業の内容		
第1回研究会		
◇日時	平成29年8月4日（金）	
◇場所	備前市役所	
◇協議事項	職員採用試験実施状況、給与制度等について 外	
第2回研究会		
◇日時	未定	
◇場所	備前市役所	
◇協議事項	未定	
—		

事業名	専門家招へい事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。	
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
管理職員を対象とする職員研修を実施予定。		
1. 日 時	平成 29 年 11 月で調整中	
2. 会 場	赤穂市文化会館（ハーモニーホール）学習室	
3. 講 師	花 岡 洋 文 氏（前国土交通審議官）	
4. 内 容	（予定）「人口減少を踏まえた、市町職員の今後の取り組み方について」	
5. 参加者数	未定（備前市 名、赤穂市 名、上郡町 名）	
予算額 280,000 円		

事業名	職員交流（派遣）事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。	
効果	圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。	
平成 29 年 度 事 業 の 内 容		
◇日時 未定		
◇場所		
◇実施内容		
◇派遣職員		
—		